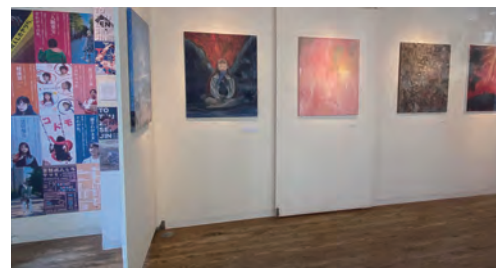


令和5年度 後援会ドリームプラン奨学金 採用企画

造形表現学科の5名の学生が、展示会を開催。
多くの人に作品を見てもらう夢が叶いました！



— 突然成人したヤツら、—

日程：2023年8月3日～8月8日

場所：ギャラリー HANA 下北沢

企画学生：谷野伶佳、北島ねね、mol、TEBO、間嶋桃子



【学生メッセージ】 造形表現学科 谷野伶佳

① 展示会をやりたいと思ったきっかけは何ですか？

最初は私が制作した作品を学外の人にも見て貰いたい、と思ったのがきっかけでした。造形表現学科の1,2年生の授業を通して自身の制作の方向性が見えてきたのですが、授業で制作したものは学生と先生方にしか見ていただけません。もっと幅広い方に私たちの作品について意見をもらったり、お話ができたりする場所がないか、と考えていたところ展示会という手段があることに気がつきました。

② 展示会に向けて大変だと感じたことは何ですか？

正直ありません。と言うのも、私自身がやりたいと言い出したことを、今こうして実現できていることが何よりも嬉しいからです。ただ、大変だなと感じないのはメンバーのおかげでもあると思います。本展示会は造形表現学

科3年生5名のメンバーで準備を進めてきました。まず、展示会をやらないかと声をかけた時、急な誘いであっただけで関わらず皆二つ返事で承してくれました。今年の1月から準備を開始し、半年以上経ちましたが、その間ずっと皆で意見を出し合いながら最善の選択肢は何か、私たちが作りたいものは何か議論を重ねてきました。私1人では思い付かないこと、出来なかったことが数え切れないほど生まれました。私にできないことはメンバーが必ず助けてくれます。だから、大変だなと思うことよりも助けられているなと感じることの方がずっと多いのです。そして何よりも、自分たちで1から企画したものが形になり、お客さんを迎えることができるのが嬉しいです。

③ 今後の学生生活はどのように過ごしたいですか？

今後はもっと学外での活動を行って

いきたいと考えています。今回、本展示会の5名のメンバーでartposseという団体を立ち上げました。artposseとは、アートを楽しむやんちゃな仲間という意味があり、目の前の「面白そう」に貪欲に行動し、さまざまな物事を作り上げていくことを目的としています。本展示会はartposseの活動第1弾となっています。そして今後、artposseとしての活動をより活発化していきたいと考えています。具体的にはまだ決まっていますが、やりたいことはいっぱいあります。造形表現学科で学んだことをもとにartposseで活動を展開し続けていきます。



令和5年度 在学生特待生奨学金授与式を実施

東京家政大学・東京家政大学短期大学部在学生特待生奨学金授与式が、6月28日(水)板橋キャンパス・7月20日(木)狭山キャンパスにて執り行われました。各学科・科より選出された令和5年度の特待生は75名です。

*在学生特待生奨学金は学園創立130周年を記念し創設された奨学金制度です。各学科・科より選出された学業・人物に優れた学生を学長が決定し、年間授業料の半額が給付されます。選出された特待生には、学園を牽引する存在としてこれからの活躍に期待します。



板橋キャンパス



狭山キャンパス

附属みどりヶ丘幼稚園 創立70周年を迎えました！！

2023年7月15日(土)、幼稚園型認定こども園 東京家政大学附属みどりヶ丘幼稚園の創立70周年記念式典が三木ホールにて挙行されました。

当日は3～5歳児の在園児が舞台上に上がり、クラスごとに元気な歌声を披露しました。来賓・保護者からの温かい拍手に子どもたちも嬉しそうな笑顔を浮かべていました。

附属みどりヶ丘幼稚園は、70年という長い歴史の中で、2,000名を超える卒園児を送り出しています。

当日の会場のエントランスには子どもたち手作りのろうそくを立てた大きなケーキとともに、子どもの描いた全身画が手をつなぐように飾られました。この絵には『みんなの輪』が大きく、広く繋がっていきますように』という願いが込められています。



SDGs 田植体験で「環境」を学ぶ

家政学部環境教育学科(令和6年度「環境共生学科」に名称変更)では、学生が「不耕起稲作」に参画し、耕さない田んぼにおいて、田植え、草取り、稲刈りを手作業で行っています。地球の持続可能な発展を考える上で、「食」は重要かつ根源的なテーマの1つ。学生は多くの生き物が暮らすことで成り立っている田んぼで、苗が成長し多くのモミを実らせていくさまから、本来の自然の仕組みを理解し、都会で生活する人間が必要とする食について実体験を通して学んでいます。

